

日本語教師養成サブコース 2025 年度第2回 ランチョンセミナー

～中国で日本語を教える：現状と展望～

中国は、日本語学習者数が世界最多で、日本語教師の数も多数に上ります。このため、就職のチャンスも多い反面、競争も熾烈です。では、日本の大学・大学院での留学経験者が、中国で大学等の教員の職を得ようとする場合、どのようなプロセスをふむ必要があるのでしょうか。また、将来、中国で大学教員や日本語教師になろうとする場合、日本留学中にどのようなことに気を付ければよいのでしょうか。今回のセミナーでは、神戸大学大学院修士で、中国の湖北大学の日本語科の副教授を務める張晶鑫先生をお招きし、後輩留学生へのアドバイスを語っていただきます。日本語学・日本語教育学を専攻している学生・院生のみならず、また、その他の分野を専攻している学生・院生のみならず、また、留学生を指導しておられる先生方のご参加をお待ちしています。※本イベントは、学外にも開放しています。

- 日時 2025 年 7 月 31 日 (木) 12:20～13:10 (終了後、自由参加の懇談会を予定)
- 会場 D603
- プログラム
 - ・開会あいさつ 石川 慎一郎教授
 - ・講演 張晶鑫氏 (中国:湖北大学副教授)
「中国の大学・高校における日本語教育の現状:中国人留学経験者のキャリアパス」
 - ・閉会あいさつ

張 晶鑫先生の略歴と発表概要



華中師範大学外国語学部日本語学科卒業。武漢大学大学院外国語文学学院日本語専攻博士前期課程修了。神戸大学大学院経済学研究科博士課程前期課程修了。神戸大学大学院国際文化学研究科外国語教育論講座博士後期課程修了。博士(学術)。日本学術振興会「育志賞」を受賞。日本学術振興会 DC2、PD、湖北大学外国語学部講師を経て、現在、同大学副教授。

主著として『現代日本語におけるオノマトペの用法解明とその習得』(2022.1 武漢大学出版社)ほか多数。訳書として『語料庫言語学基礎』(浙江工商大学出版社)ほか多数。

講演では、後輩の皆さんのお役に立つよう、主として、以下の内容について触れたいと思っています。

・中国における日本語教育の現状と需要、・教育機関別の進路(大学・高校・語学学校)、・中国の大学で職を得るための方法、・求められるスキルと資格、・自身の就職体験、・中国の大学教員のキャリアパス(研究、教育、学内業務など)、・中国の大学における日本語教育の現状と最近の変化、・日本での研究と中国での研究の違い、・これからの中国における日本語専攻の大学教員に求められるスキル、・中国の高校で日本語を教える、・中国の語学学校で日本語を教える、・まとめ

- 参加資格 このテーマに関心のある方(神戸大以外の皆さんの参加も歓迎)
- 申し込み 2025 年 7 月 24 日(木)までに、下記サイトより申し込み
<https://forms.gle/XKajAPCfMz5s2piK8>
- 問い合わせ先 石川慎一郎教授 iskwhshin@kobe-u.ac.jp



※本セミナーは国際文化学研究科教育研究プロジェクト「日本語教師養成サブコース高度化プロジェクト」の支援のもと、日本語教師養成サブコース運営委員会が企画・実施しています。